

平成 30 年 2 月 20 日

文部科学省ナノテクノロジープラットフォーム

平成 30 年度分子・物質合成プラットフォーム利用促進事業課題申請要領

分子・物質合成プラットフォーム代表機関

運営責任者 横山 利彦

(大学共同利用機関法人自然科学研究機構分子科学研究所)

平成 29 年度まで文部科学省ナノテクノロジープラットフォームセンター機関（物質・材料研究機構・科学技術振興機構）が行ってきた研究設備の試行的利用事業を各プラットフォームが引継ぐこととなり、分子・物質合成プラットフォームでは、利用者の方と本プラットフォーム実施機関が代表機関（分子科学研究所）に課題申請する利用促進事業として実施することとしました。必要な経費をプラットフォーム受託費で負担するに値する、発展性の高い優れた研究課題を募集します。

1. 申請・採択について

- (1) 別紙 1 の利用促進事業課題申請書(A4 判 2 ページ)を記入して、分子・物質合成プラットフォーム実施機関が代表機関 nanoplat@ims.ac.jp 宛に電子メールで提出して下さい。提出期限は平成 30 年 10 月 31 日です。ただし、予算が使い切られた場合は、その時点で提出期限以前でも募集を終了します。
- (2) 1 件の申請につき 15 万円まで申請できます。ただし、本事業で支出できる経費は、利用者が実施機関で分子・物質合成プラットフォーム利用を行うための旅費（交通費・滞在費・日当）と利用料、消耗品に限ります。年度末決算を配慮し、十分余裕をもって経費請求して下さい。
- (3) 旅費は、分子科学研究所の旅費支給規程に基づいて代表機関が利用者に支払います。利用料は実施機関が代表機関宛に請求することとします。本経費を委託費として実施機関に配分したり、利用者に再委託することはありません。
- (4) 申請の採否は、代表機関運営責任者、代表機関運営マネージャー、若干名の実施機関責任者によって行い、採否を決定します。審査にあたる実施機関責任者は申請実施機関以外から代表機関が申請ごとに選定して依頼します。
- (5) 採択された課題の実施機関は、利用報告書提出時に、別途、別紙 2 の実施報告書(A4 判 1 ページ)を提出していただきます。
- (6) 平成 30 年度の本事業予算総額は 400 万円です。
- (7) 公募により提供された個人情報、課題審査を目的としてのみ利用します。ただし、採択された課題については、実施機関名、利用者氏名、所属、実施機関担当者氏名、申請課題名、実施報告書等を利用報告書とともに公開します。

2. 申請の考え方・条件について

- (1) これまでの試行的利用の理念を継承し、産学官連携、異分野融合及び若手研究者支援、中小企業支援やスタートアップ支援、女性研究者支援を優先します。
- (2) 同じ目的の研究課題であっても複数の実施機関が関与する申請などは複数件応募できます。利用報告書は1枚でも可とします（課題番号は実施機関ごとに採番）。
- (3) 過去に別の実施機関での利用実績があり、同様の研究内容での課題申請は、連携・融合支援として優先します。
- (4) 分子科学研究所を実施機関とする課題は申請できません。
- (5) 分子・物質合成プラットフォームの参加者が利用者になる場合は申請できません。

3. 問い合わせ

本公募に関する問い合わせ先は以下の通りです。

大学共同利用機関法人自然科学研究機構分子科学研究所

分子・物質合成プラットフォーム代表機関

代表機関運営マネージャー 大原三佳

住 所：〒444-8585 愛知県岡崎市明大寺町字西郷中3-8

電 話：0564-55-7431

メール：nanoplat@ims.ac.jp

平成 年 月 日

運営責任者 横山 利彦 殿

実施機関名				
	所属部局等	役職	氏名	アドレス
責任者				
担当者				
担当者				
利用者 機関名				
代表者				
協力者				
協力者				

申請課題名	
-------	--

1. 研究目的

2. 経費必要性		
3. 実施計画		
4. 過去の他実施機関利用実績		
実施機関、課題番号、利用年度、利用責任者、利用者所属、課題名、利用機器		
5. 経費内訳		
	適用	金額
旅費		
利用料		
消耗品		

欄・枠の大きさは適宜増減して2ページにしてください。

平成 年度分子・物質合成プラットフォーム利用促進事業課題実施報告書

平成 年 月 日

課題番号・課題名	
実施機関名	
責任者所属氏名	
担当者所属氏名	
利用者機関名	
代表者所属氏名	
協力者所属氏名	
実施報告	